

やさかだより3 No. 95

八坂地域づくり協議会 <https://www.shinshu-yasaka.com> 2023年(令和5年)3月1日



2022「わたしのやさか」フォトコンテスト

最優秀賞「ラベンダー園の朝」 富山璃子さん



3月号の記事

地域づくり協議会の活動から2
定住促進住宅の入居者募集2
地区の活動から3
八坂小学校4
八坂中学校・たけのこ保育園5
コミュニティースクール・山留の風6
八坂公民館から7
きらり話題の八坂人8
編集後記8



優秀賞 自然 鈴木瞳さん



優秀賞 歴史伝統文化
平林 宏一さん

八坂地区の人口：744人
(男 372人・女 372人)
八坂地区の世帯：356世帯
(令和5年2月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

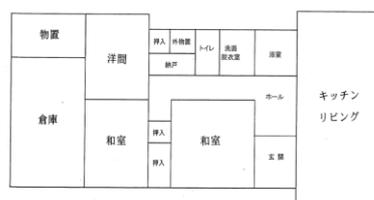
期 日	区 分	内 容 等
1/19	第5回やさかだより編集会議	<ul style="list-style-type: none"> • やさかだより3月号編集会議
1/27	第4回八坂地域づくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> • 地区内の体育施設について（スポーツ課） • 市堆肥センターについて（生活環境課） • 市消防団の再編について（危機管理課） • 八坂太陽光発電事業協力金の申し出について • 令和4年度会計の決算見込み及び備品の購入について

定住促進住宅の入居者募集

現在、明野集合団地3棟と大門団地1棟が開いています。知り合い等で入居を希望される方がいましたら、ぜひご紹介をおねがいします。
 なお詳しい情報は市HPでもご覧いただけます。
 入居の条件など詳しくは、八坂支所産業建設係までお問い合わせください。



LDK（11.3畳）、南側洋室（8.2畳）
 北側洋室（6畳）
 ※各居室に収納スペースあり



大門団地 間取概要

切久保地区

小正月の行事を切久保地区では、1月9日(月)にどんど焼き、1月14日(土)に鳥追いを行いました。

八坂地区で鳥追いの行事を継続しているのは限られているようです。凍える夜明け前、子どもたちが各々羽子板を持ち木槌で拍子打ちしながら、鳥追い歌を歌い村中を歩くという伝統です。年初めに害鳥を追い払えばその効果が秋にまで持続するという考えに基づいているようです。

真っ暗・極寒・怖い・2時間歩き続ける大変さよりも、みんなでやる連帯感や地域の方の優しさ、やり終えた達成感と暖かい部屋に入り美味しいものを頂いてみんなで楽しい時を過ごす嬉しさが勝る。全てが忘れることのない思い出です。



野平地区

12月18日(日)にわら細工講習会を開催しました。本来なら、この日は朝からお料理交流会なども併せて行うのですが、コロナ禍とあって、自粛しました。事務局の富山奈未さんに講師となっただき、参加した中学生にもサポートしてもらいながらの楽しい講習会となりました。そのあとは野平生活改善センターの大掃除を役員で行い、お正月に備えました。



1月8日(日)にどんど焼きを行いました。

年末のうちに用意した竹でやぐらを組み準備をしている間に竹を取りに行く人、しめ飾りや門松を集める子供たちを乗せて集落内を回る人など手際良く分かれて、準備を進めましたが、「育てる会」の山留生にお手伝いに来てもらったおかげで早く準備を終えることができました。

また地域の消防団員の皆さんは準備が終わると出初式のため大町に出向き、夕方の点火にも立ち会って、防火に努めていただきました。午後5時に点火すると夜空に赤々と大きな炎が燃え上がりました。しばらくして熾火になったところで、無病息災を願い焼いたお餅を食べました。



石原地区

12月18日(日)わら細工講習会を開催しました。また、1年間お世話になった基幹センターの大掃除と、正面玄関に飾る門松づくりも併せて行いました。



《1年生》 まず、遠足や運動会などの思い出を発表しました。その後は「友だちになるために」を歌ったり、「ぼくたちのきらきら星変奏曲」を演奏したりしてコンサートを行いました。最後は「親子わらべ歌じゃんけん対決」をして親睦を深めました。



《2年生》 鍵盤ハーモニカ、木琴、打楽器を使い、楽器を交替してみんなで「それが音楽」の曲を演奏しました。その後は、扱いに慣れてきたクロムブックを使って、2年生の学習のまとめをみんなでプレゼンテーション発表しました。



《3年生》 「自分のことを好きになる」「問いをもって学ぶ」というテーマで一年間学んできたことを発表しました。言葉や歌声で、自分たちの学びや成長を堂々と伝え、おうちの方々から心温まる言葉をいただきました。



《4年生》 「二分の一成人式」と題し、4年生になるまでの成長の姿をクロムブックを使って発表し、家族への感謝の言葉も伝えました。おうちの方々から、子どもたちを温かく包んでくださる言葉をいただき、努力を認めてもらってみんな満足感をもつことができました。

《5年生》 本年度の学習から、「海の学習」と「米作り」を取り上げ、ショートスキット(寸劇)を交えつつ、スライドを使って発表しました。個人発表では、一人ひとりが選んだ「今年の漢字」や授業で作った作品をおうちの方々に見ていただきました。

《6年生》 理科・社会・行事の3つのグループに分かれ、授業で学んだことをスライド映像などにまとめて発表しました。理科の発表では、実際に水溶液の性質の実験を行いました。6年間のまとめとして、堂々と発表することができました。



二月四日に、本年度最後の授業参観を行いました。今回は、一年間のまとめとしてこれまで学んだことを発表したり、おうちの方々には感謝の気持ちを伝えたりしました。本年度の教育活動を振り返って成果と課題をお伝えし、来年度義務教育学校となる八坂小中学校の運営の概要をお話しました。

八坂公民館



第43回郷土かるた大会



コロナ禍により、2年ぶりと
なる「郷土かるた大会」を小学生26
名が参加し、1月14日に開催しま
した。
今まで行ってきた餅つき大会は、
感染防止のため中止し、かるた大
会のみを行いました。
当日は、1〜2年、3〜4年、5
〜6年の3つのグループに分け
て、「八坂郷土かるた」と「大町
民話かるた」を交互に計5回行い、
取り札の枚数を競いました。子ど
も達は、真剣な眼差しでかるたを
囲み、読み札に集中しながら、か
るたを取るたびに「ハイ」と大き
な声が会場に響きました。また、
開閉会式や受付など、当日の進行
は6年生が行い、低学年の子とも
達を思いやる温かみのある大会と
なりました。

「八坂郷土かるた」は、
郷土学習を深めるため、
昭和54年に制作され、読
み札は、村民から募集し、
絵札は、当時の中学生が
版画により制作したもの
で、翌年の昭和55年から
「郷土かるた大会」が続
いていきます。この伝統あ
る大会を、今後も地域や
学校と協力しながら継続
し、子ども達にふるさと
の良さを伝えていきたい
と思います。



創作人形づくり講習会

この人形は、軍足(くつ
した)や手芸用綿、着物
の端切れなどを使い、重
りに石を入れて50セン
チほどの大きさになりま
す。講師には、小谷村の
近江さつ子さんをお招き
し、10名の受講者が参
加しました。
久しぶりに裁縫をした参
加者も多く、細かな作業
に苦戦しながらも作業を
進めるうちに昔の感覚を
思い出し、それぞれ個性
あふれる愛らしい人形を
作ることができました。



猫つぐらづくり講習会

わら細工の最高峰といえ
る「猫つぐら」づくりの講習
会を1月23日から5回の日
程で開催しました。
栃沢の丸山晃孝さんから道
具の作り方や編み方を丁寧
に教えていただき、参加者
がそれぞれ工夫をしながら、
技術と根気のいる猫つぐら
づくりに挑戦しました。
受講者の皆さんは、慣れない
作業で最初は手間取ってい
ましたが、慣れてくると編み
目もきれいに整い、個性のあ
る猫つぐらを作ることがで
きました。また、この編み方
は、座布団や鍋敷き、つぐら
などに応用できることから、
これからの創作意欲も高
まっています。



